

開拓使

着手後懶惰ニシテ成功不仕候節ハ御規則之通再度之從事為仕可申候依而保狀如件

某府縣士族僧侶平民

某大區某小區町住或官名

年月日

某等士族某引受入

苗字名印

開拓長官苗字名殿

前書之通相違無之候事

年月日

府縣印

乙亥年三月廿二日 山院上申書

南使於テ拾田五田を田五種氏武種氏

交換結局ノ入上申

南使於テ拾田五田を田五種氏武種氏

種氏証書合テ武種氏田製造家

大務省帳簿ノ上明治四年辛未土月

以裁可也此取以不種氏以下三種

第...
...
...
...

開拓使

開抄

送高石と相万田と同六年 才百三十九号
 公布之日有相換ありい交換え令吏家
 交換石計い仕込別紙浦と通る有
 外府の系三井組ありい交換い分共
 結局い今今因大義今上申い通い
 い余見本トして府の配達い白長崎
 康見多ありあり日松い今相高石組あり

未納給矢あい分い為付換いにおる因
 方い後上申あり

明治十年十月廿日
 大政大臣三條實美殿

開抄

乙亥年三月

當使管內行政警察規則之

儀ニ付御届

本年第二十九号

及二百六號
以

以府縣行政警察案規

則御史達相成候二付右御史達二基キ當使
行政警察規則別冊之通相定施行致候
条書面相格此段御史届仕候也

明治八年十二月二十八日

開拓長官黒田清隆

太政大臣三條實義殿